



山桜

高階西中だより 新入生保護者会特別号
平成30年 1月25日

川越市立高階西中学校

将来、世の中を支える「人財」を育てる教育を推進します

校長 長井 正邦

子供たちは、「宝物」です。かけがえのない存在であり、将来の「人財」です。「人材」ではなく「人財」です。本校は、子供たち一人一人のよさを認めて、励ましていく指導を実践します。その結果、自分に自信を持った子供たちが、集団の中で、自分のよさを生かしながら、さらに成長し、「人財」として輝けるような教育を推進しています。

中学生という時期は、小学校で培った基礎の上に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などを育む大切な時期です。本校では、いつの時代においても変わらない大事なものはしっかり指導するとともに、新入生の子供たちが、高階地区・川越市・埼玉県・日本を支えるようになる頃の社会——2030年以降の時代もしっかりと見据えて子供たちを育てていきます。

また、子供たちは、一人一人様々な能力と可能性を持っています。本校では、その能力と可能性を开花させること、そのことも大切に考えてあらゆる環境を整える取組も行っています。その際、「他の子と比べて伸びる時期が早いか遅いか」や「他の子と比べて伸びるスピードが速いか遅いか」ということではなく、その子供自身が自分らしく自分なりに全力で成長しようとする姿を最も大切にしています。「昨日の自分より今日の自分を、今日の自分より明日の自分を成長させよう」という気持ちを育てることを使命としています。

学校教育目標の「自ら学び考え行動する生徒」の育成を目指し、家庭・地域等の皆様の御理解と御協力をいただき、子供たちを育てていきたいと考えています。よろしくお願ひ申し上げます。



↑
生徒が描いてくれた
校長の似顔絵

【詩】

自分の
一歩

宮澤草一（みやざわしよこ）
埼玉県出身の詩人

学校教育目標
自ら学び
考え
行動する
生徒